



「街の息」

街は息をしていた。
肺の底まで吸い込んで、
アスファルトの道の隙間や
落書きを書いた壁に
「時」を吐き出していく。

街の息を吸いながら、
人は街を歩く。
街の吐く息は、
人を吸い込んでいく。